

学術論文流通で新たなサービス

DOI付与の国内登録機関—JaLCが本格的に運用を開始

JaLC ホームページから概要をご紹介します

<http://japanlinkcenter.org/>

インターネットというもう一つの世界の出現は、学術研究成果である論文等の流通形態を劇的に変化させています。その規模はボーダレス、グローバルに進んでいて論文流通に当たっての新たな指標やルールが次々に策定されています。また一方で、調整を要し共同で検討して克服すべき次なる課題も再生産され続けています。情報を共有し注意して動向を確認する必要があるようです。 (編集部)

[設立の理由]

学術研究を活性化させるために、質が高く、信頼性の高い学術コンテンツに「いつでも、誰でも、どこでも」、インターネット上で自由にアクセスできることが求められています。また、国内で行われた学術研究の国内および国際的な評価を高めるためには、成果論文へ容易にアクセスしてもらえるようにしておくことが重要です。

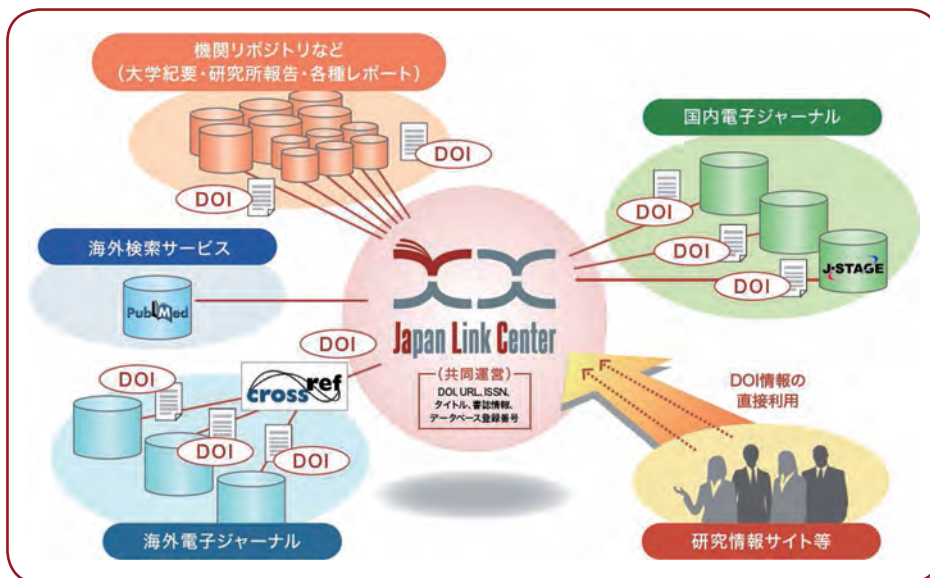
学術論文や書籍などの学術コンテンツの分野では、個々のコンテンツに国際的な識別子である“DOI” (Digital Object Identifier) という番号をつけ、コンテンツの所在情報とともに管理し、永続的なアクセスを可能にするということが広く行われています。例えば、世界最大の DOI 登録機関である米国の CrossRef では全世界 5,400 万報以上の学術論文に DOI を付与しており、DOI を利用した引用・被引用リンクが実現されています。しかし、日本では DOI を付与されるコンテンツは 150 万報程度と少数にとどまっており、特に日本語で書かれた学術コンテンツへの永続的なアクセスと利便性の向上が、情報発信力向上の点からも望まれていました。

ジャパンリンクセンターは、国内の各機関が保有する電子的学術コンテンツ(雑誌論文、学位論文等)の書誌・所在情報を一元的に管理するシステムです。2012年3月15日に国際 DOI 財団(International DOI Foundation) から、世界で第9番目(日本では唯一)の DOI 登録機関に認定されました。

コンテンツの DOI の登録機能を備えており、独立行政法人 科学技術振興機構(JST)、独立行政法人 物質・材料研究機構(NIMS)、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所(NII)、国立国会図書館(NDL)が共同で運営しています。

[JST 記者会見から抜粋] — ジャパンリンクセンター [JaLC] とは

- ・日本国内の学術論文、書籍などの電子化された学術コンテンツおよび研究資料やデータなどに国際標準の識別番号(Digital Object Identifier, DOI) を付与することで、国際的な情報流通の輪の中に恒久的に入ることができ、流通性・活用度の飛躍的向上に寄与する。
- ・国内外のコンテンツの書籍情報と所在情報を一元的に管理、コンテンツ間のリンク関係(引用・被引用も含む)を中継することで、研究者や技術者が知のネットワークを簡単にたどることができる。
- ・従来の CrossRef を通じた DOI 登録以外に、JaLC 独自の DOI を登録できることにより、今まで DOI が付与できなかった調査



JaLC のコンセプト

報告書などにも DOI を付与する事が可能となる。本件は検討中。

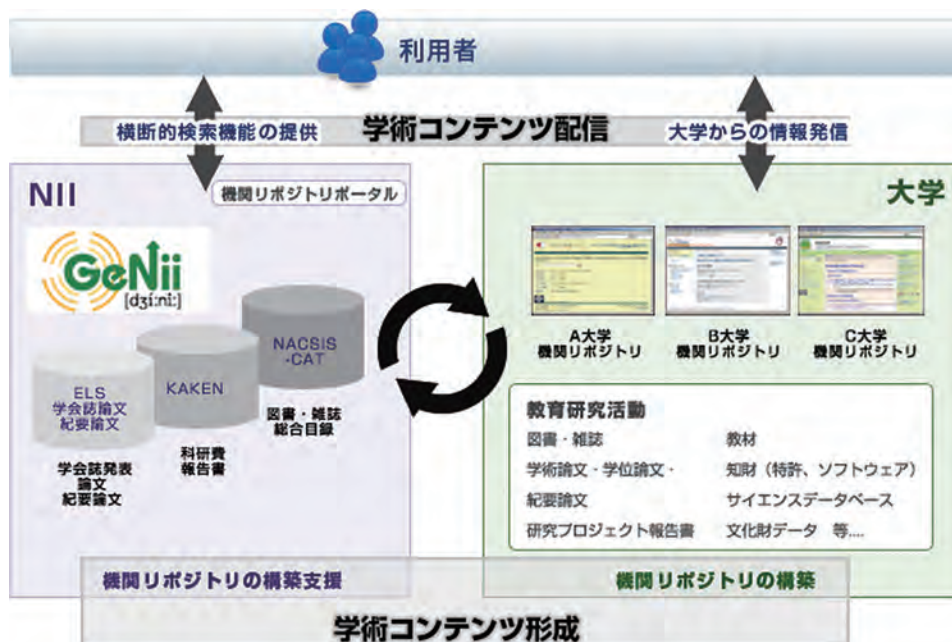
・運営については、情報流通に関わる4機関から始めるが、今後は民間も含め多くの情報流通機関の参加を求め、オールジャパン体制で進めていく。機関ネットワークが拡大することで、さらに流通性・活用度の飛躍的向上が期待される。

しかしながら過渡期の問題として、急速に普及している「機関リポジトリ」運用との関連で、所属研究機関にリポジトリとして掲載された研究成果が、学会誌などに「原著」投稿すると「二重投稿」の指摘を受けるケースがあるようです。今後克服すべき一時的な課題とは思いますが、国公立研究機関に所属される研究者は所属機関の図書館等との協議が必要かもしれません。「機関リポジトリ」についても、概要を以下ご紹介しておきます。(編集部)

機関リポジトリとは

機関リポジトリとは、大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです。

国立情報学研究所(NII)では、これまでのコンテンツ関連事業の成果を継承、拡充させ、次世代学術コンテンツ基盤の整備に資するために、各大学における機関リポジトリの構築とその連携を支援しています。



次世代学術コンテンツ基盤構築を実現するため、大学と国立情報学研究所が共同で確保すべき多様な学術コンテンツの中で、特に大学の教育研究活動の成果である学術情報の収集、組織化、保存及び発信のための仕組みとして、近年「機関リポジトリ」が注目されています。

平成 17 年度は 19 大学に、平成 18 年度からは公募により選定された 57 大学に、平成 19 年度からは 70 大学に、機関リポジトリ構築推進のための事業を委託しています(国立情報学研究所 [NII] ホームページより)。

[機関リポジトリ一覧]

<http://www.nii.ac.jp/irp/list/>

J-STAGE Lite が平成 27 年度から運用開始

国立情報学研究所が運用する CiNii の中止に伴って、JST [科学技術振興機構] の J-STAGE が、新たなサービスとして J-STAGE Lite の運用を開始すると発表しました。その運用内容や概要は検討中の課題も多くあり、2014 年 10 月 17 日京都リサーチパークで開催された説明会から、その抜粋をご紹介します。先のジャパンリンクセンター [JaLC] とも関連がありますので是非ご参照下さい。
(編集部)

[J-STAGE Lite (以下、Lite) とは]

より多様な刊行物を、発行機関自らがより単純な工程で電子ファイル登載し、内外に簡単に流通させることのできるしくみ

[Lite の収録対象範囲 (抜粋)]

1. 利用刊行物が現に刊行の継続がされている[または、具体的な刊行予定のある]科学技術[人文・社会科学に関するものを含む]・学術逐次刊行物であること(原則として ISSN の取得をお願いする)。
2. 発行機関において、公開用データの作成・運用体制[コンテンツに責任を持って継続的に記事の登載・運用、閲覧者からの問合せ対応等を行っていただける体制]が確保されていること。
3. 利用刊行物が、将来にわたり継続して J-STAGE (J-STAGE Lite) において公開されること[JaLC による DOI 登録を実施]。また、オープンな内外の流通を志向していること。(クリエイティブ・コモンズライセンスの付与等も検討が必要)
4. 査読は無くても可能。具体的には、逐次刊行ジャーナル/予稿集/紀要論文/研究報告書/技術報告書/会議録等

[Lite のおもな機能]

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 1. DOI 登録 (JaLC DOI) | 4. 電子付録 |
| 2. 引用文献リンク (引用文献リストから当該引用文献へのリンクが可能) | 5. アクセス統計は使える予定 |
| 3. 外部検索サイト連携 | 6. 認証機能 / PPV (Pay Per View) |

[Lite サービス開始のスケジュール]

平成 27 年度 (2015 年度) 上半期・Lite 向け利用規約の新設

上半期～下半期

・ Lite 利用説明会 / ・ Lite 利用受付開始

下半期

・ システム・サービスリリース

※スケジュール告知ページ https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S560_ja.html

学会大会・講演会 スケジュール

2014年10月～2015年11月

※これらの情報は2014年12月1日現在のものであり、今後変更になる可能性がありますので、大会および講演会についてのお問い合わせは各イベントの問い合わせ窓口へお願いいたします。

🕒=日時 📍=会場 👤=代表者・テーマ・講師・講演など ?=問い合わせ先 ☎=電話 📠=FAX ✉=E-mail 🌐=URL

掲載希望は随時受け付けておりますので、ご希望の学協会様は右記のアドレスまでご連絡ください。

連絡/お問い合わせ obata@nacos.com

2014

October

第53回大学美術教育学会（福井大会）

🕒 4日（土）～5日（日）📍福井大学（福井大学文京キャンパス）👤福井大会実行委員会委員長 宮崎光二 教えること・育てること—美術教育の原点を問い直す 教大協全国美術部門・大学美術教育学会福井大会実行委員会委員長 宮崎光二 ☎0776-27-8702 📠0776-27-8702 ✉kmiyazak@f-edu.u-fukui.ac.jp 🌐http://www.uaesj.com/

第64回地域農林経済学会大会

🕒 17日（金）～19日（日）📍京都府立大学 地域シンポジウム「中山間地域におけるコミュニティとビジネスの持続可能性」

環境微生物学会合同大会2014

🕒 21日（火）～24日（金）📍アクティシティ浜松（静岡県浜松市）👤委員長 金原和秀（静岡大学 大学院工学研究科 教授）環境微生物学会合同大会2014 実行委員会 🌐http://www.microbial-ecology.jp/meeting/

第65回日本電気泳動学会総会

🕒 24日（金）～25日（土）📍横浜情報文化センター 👤総会長：平野久 メインテーマ：最新の電気泳動技術30の話題

第62回日本西蔵学会大会

🕒 25日（土）📍苫小牧駒澤大学 日本チベット学会事務局

粉体粉末冶金協会平成26年度秋季大会（第114回講演大会）

🕒 29日（水）～31日（金）📍大阪大学コンベンションセンター <講演特集> (1) 硬質材料の組織、特性、製造プロセス等の改善と新たな展開 (2) 電磁プロセスを含む新しい粉末成形技術による新機能発現 (3) 環境やエネルギー問題に資する磁性材料の応用 (4) 自動車の変化に対応した焼結材料の新たな展開 (5) 各種粉末の焼結機構と新しい焼結技術の展開 (6) メカニカルアロイングの応用技術 ☎075-721-3650 📠075-721-3653 ✉info@jspm.or.jp 🌐http://www.jspm.or.jp/

第68回日本人類学会大会

🕒 31日（金）～11月3日（月）📍アクティシティ浜松（静岡県浜松市）👤大会長 松浦秀治（お茶の水女子大学 教授）第68回日本人類学会大会公開シンポジウム「旧石器時代人から縄文時代人へ」—浜北人、三ヶ日人、蜷塚貝塚人、そして家康へ— 第68回日本人類学会大会 事務局 ✉jinrui68@cc.ocha.ac.jp 🌐http://www.gakkai.ne.jp/anthropology/68_annual_meeting/

November

環境資源工学会第133回例会

🕒 13日（木）～14日（金）📍岩手大学 環境資源工学会事務局 ☎075-415-3661 📠075-415-3662 ✉rpsj@nacos.com 🌐http://www.nacos.com/rpsj/040101.html

一般財団法人日本国際政治学会

🕒 14日（金）～16日（日）📍福岡国際会議場 2014年度国際政治

学会研究大会事務局

日本語学会第149回大会

🕒 15日（土）～16日（日）📍愛媛大学 日本語学会事務支局 ☎075-415-3661 📠075-415-3662 ✉lsj@nacos.com 🌐http://www3.nacos.com/lsj/

第64回日本中国語学会全国大会

🕒 15日（土）～16日（日）📍大阪大学 日本中国語学会大会運営委員会 ✉clsjtaikai2014@gmail.com 🌐http://www.chilin.jp/

公益社団法人日本顕微鏡学会第58回シンポジウム

🕒 16日（日）～17日（月）📍九州大学医学部百年講堂 👤実行委員長：安永卓生 プログラム委員長：金子賢治 テーマ：ナノとマクロを繋ぐ顕微鏡学 基調講演 ●Rafal E. Dunin-Borkowski (Peter Gruenberg Institute Research Centre, Germany, Professor) ●飯島 澄男 (名城大学大学院理工学研究科 教授) ●柳田 敏雄 (大阪大学大学院生命機能研究科 教授) 日本顕微鏡学会第58回シンポジウム実行委員会事務局：九州工業大学・情報工学研究院・安永研究室内 ☎0948-29-7826 📠0948-29-7826 ✉jsm-sympo@yasunaga-lab.bio.kyutech.ac.jp 🌐http://www.yasunaga-lab.bio.kyutech.ac.jp/jsm-sympo58/

2015

February

環境資源工学会 第30回シンポジウム

🕒 20日（金）📍新橋住友ビル大会議室（東京都港区新橋5-11-3）? 環境資源工学会事務局 ☎075-415-3661 📠075-415-3662 ✉rpsj_sympo@nacos.com 🌐http://www.nacos.com/rpsj

第33回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

🕒 26日（木）～28日（土）📍東武ホテルレバント東京 👤会長 池田勝久 特別企画：26日教育セミナー1/ 梶島健治 先生（京都大学皮膚科 准教授）「4次元イメージングにより明らかになったアレルギーの新世界」、27日教育セミナー2/ 中江 進先生（東京大学医科学研究所 准教授）「アレルギー疾患とサイトカイン—最近の知見—」? 順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座 ☎03-3813-3111（内線71228）📠03-5840-7103 🌐http://jiao.umin.jp/33rd/index.html

March

日本NPO学会 第17回年次大会

🕒 14日（土）～15日（日）📍武蔵大学 江古田キャンパス ? 日本NPO学会事務局 ✉janpora@osipp.osaka-u.ac.jp 🌐http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/

言語処理学会第21回年次大会

🕒 16日（月）📍京都大学（情報処理学会全国大会と同時開催）👤大会委員長 菊井 玄一郎（岡山県立大学 教授）🌐http://www.anlp.jp/guide/nenji.html

第56回日本植物生理学会年会

16日(月)～18日(水) 東京農業大学 年会委員長 佐々木卓治 ? 第56回日本植物生理学会年会委員会事務局 ☎075-415-3661 ☎075-415-3662 ✉jspp2015@nacos.com ☎http://www.jspp.org/tokyo/index.html

日本育種学会第127回講演会

21日(土)～22日(日) 玉川大学 大会運営委員長 今村 順 ? 日本育種学会第127回講演会運営委員会 ☎http://www.nacos.com/jsb/06/06top.html

第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 [第92回日本生理学会大会合同]

21日(土)～23日(月) 神戸国際会議場・展示場 会頭 河田 光博 からだのフロンティア ～知る・深める・極める 市民公開講座:「人間と芸術」 パネリスト:岡ノ谷一夫 東京大学、福のり子 京都造形芸術大学、布施英利 東京藝術大学 ? 京都府立医科大学大学院 医学研究科 解剖学教室 生体構造科学部門 ☎運営事務局 06-6221-5933 ☎運営事務局 06-6221-5938 ✉anat120@koto.kpu.ac.jp ☎http://psj92-jaa120.umin.jp/index.html

園芸学会平成27年度春季大会

28日(土)～29日(日) 千葉大学西千葉キャンパス 大会実行委員長:近藤 悟 ? 大会事務局 ☎047-308-8801 ☎047-308-8801 ✉spring2015@jshs.jp ☎http://www.jshs.jp/

平成27年度日本植物病理学会大会

28日(土)～31日(火) 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 平成27年度日本植物病理学会大会事務局 ☎044-934-7036 ☎044-934-7036 ✉pps2015@meiji.ac.jp ☎http://www2.nacos.com/pps2015/index.html

April

第116回 日本医史学会総会・学術大会

25日(土)～26日(日) 日本綿業倶楽部(重要文化財指定建築物)・武田科学振興財団杏雨書屋 会長 小菅戸 洋 実行委員長 平松 賢二 市民公開講座:深澤 恒夫「道修町の今昔」 田中祐尾「近世大坂の医学」(仮) 町 泉寿郎「漢蘭折衷の医学」 ? 北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部 ☎03-5791-6353 ☎03-5791-6173 ✉ishi2015@insti.kitasato-u.ac.jp ☎http://jsmh.umin.jp/congress.html

May

第64回日本医学検査学会

16日(土)～17日(日) 福岡国際会議場、マリンメッセ福岡、福

岡サンパレス 学会長:百田 浩志 実行委員長:堤 玲子 テーマ:SAGA 創 未来(さがそうみらい) 一時代が求める風になれ ☎http://www.congre.co.jp/64jamt/index.html

第52回日本小児外科学会学術集会

28日(木)～30日(土) 神戸国際会議場 会長:前田 貢作 すべては子ども達の笑顔のために — Innovation and Care — 【事務局】兵庫県立こども病院 小児外科【運営事務局】〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 一般社団法人 学会支援機構内 ☎【運営事務局】03-5981-6011 ☎【運営事務局】03-5981-6012 ✉【事務局】jsps52_kch@hp.pref.hyogo.jp ✉【運営事務局】jsps52@asas.or.jp ☎http://www.asas.or.jp/jsps52/index.html

第52回 日本小児外科学会学術集会
The 52nd Annual Meeting of the Japanese Society of Pediatric Surgeons
すべては子ども達の笑顔のために
- Innovation and Care -
平成27年
会期 5月28日(木) 29日(金) 30日(土)
会場 神戸国際会議場
会長 前田 貢作

日本顕微鏡学会第71回学術講演会

13日(水)～15日(金) 京都国際会館

第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

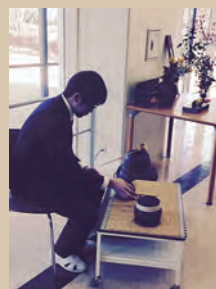
20日(水)～23日(土) 東京国際フォーラム 会長:小川 郁 (慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科) ? 事務局:慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科 ☎03-5363-3826 ☎03-5379-0335 ✉jibika116@med.keio.ac.jp ☎http://www.gakkai.co.jp/jibika116/

学会の風景 (1)

日本顕微鏡学会和文誌「顕微鏡」編集委員会の2014年後期委員会が12月13日岡山県の川崎医科大学で開催されました。集中した審議の休憩タイムには樋田編集委員長が自ら焼かれた備前焼の茶器で、研究室の皆さんからお茶のお点前の、心からのおもてなしをうけ、先生方堪能されていました。



倉敷大原美術館前で委員会の先生方



茶道部安藤君もお見事



お茶菓子は弥生土器に



本格的なお点前

June

第38回日本顔面神経学会

● 11日(木)～12日(金) 血 伊藤国際学術研究センター・東京ドームホテル 会長：山嵜達也 (東京大学医学部耳鼻咽喉科学教室) □ <http://www.fnr.jp/>

第68回日本酸化ストレス学会

● 11日(木)～12日(金) 血 かがし県民交流センター 会長：馬嶋秀行

日本言語学会第150回大会

● 20日(土)～21日(日) 血 大東文化大学 150回大会記念フォーラム「日本語学会の回顧と展望」司会：梶 茂樹 講師：柴谷方良、早田輝洋、上野善道、影山太郎 日本言語学会事務支局 ☎ 075-415-3661 □ 075-415-3662 ✉ lsj@nacos.com □ <http://www3.nacos.com/lsj/>

August

第40回組織細胞化学講習会

● 5日(水)～6日(木) ● 講演(5-6日) 血 帝京平成大学池袋キャンパス内、冲永記念ホール ● Wet Lab(7日) 帝京大学板橋キャンパス内、共同実験室 第40回組織細胞化学講習会実行委員長：松野 彰 テーマ：組織細胞化学の新たな展開—見る・観るを通じた生命科学 ☎ 03-3964-1211 ✉ info_40kjsch@nacos.com

September

日本植物学会第79回大会

● 6日(日)～8日(火) 血 朱鷺メッセ(新潟市) 大会会長：竹能清俊(新潟大学) 実行委員長：西川周一(新潟大学)

October

第54回日本鼻科学会総会および学術講演会

● 1日(木)～3日(土) 血 広島国際会議場(広島県広島市) 第54回会長/平川 勝洋(広島大学)

第56回日本組織細胞化学会総会・学術集会

● 3日(土)～4日(日) 血 関西医科大学(大阪府枚方市新町2-5-1、京阪電鉄枚方市駅徒歩5分枚方新キャンパス) 会長：山田久夫「組織化学のモーダルシフト」 ☎ 072-804-2300 ✉ 56jshc@hirakata.kmu.ac.jp

November

3rd International Conference of Powder Metallurgy in Asia (APMA2015)

● 8日(日)～10日(火) 血 京都大学百周年時計台記念館

学会の風景(2)

今年から中西印刷が学会事務支局の委託業務を開始しました大学美術教育学会の第53回大会が福井大学文京キャンパスで10月4～5日に開催されました。[実行委員長：宮崎光二先生]
福井大学前には「えちぜん鉄道」のその名の駅があり、終着福井駅では福井ならではの人が出迎えてくれました。



編 ◆ 集 ◆ 後 ◆ 記

不 均衡動学理論を打ち立て、公共経済学の視点から市場原理主義を批判し続けた経済学者宇沢弘文先生が2014年9月に86歳でお亡くなりになりました。名著「自動車の社会的費用」で社会的共通資本の整備を訴えた宇沢先生はノーベル経済学賞候補にしばしば上がりながら水俣や三里塚など社会の底辺での闘いの第一線にも立ち、東日本大震災後の「復興」についても、人間の生活の視点からの復興を訴えました。「浪費なき成長」の岩井克人先生は宇沢先生の門下生。学会業務を専業とする中西印刷で最も縁の薄いのが経済学の領域。ご冥福をお祈り致します。

創刊準備号のNO.0号を含め、15号の発行に関わりました。誌面のマンネリと情報の偏りが目立ちます。本号をもって「学会情報誌 NACOS 学会フォーラム」の編集は後進に譲りたいと思います。若く新たな視点での継続した発行を期待します。
(編集責任者/井上俊幸)

グ ローバルな舞台で活躍できる人材を育てることを目的としている「スーパーグローバル大学」。「井の中の蛙」状態の私は、学生としてもう一度学んでみたいものです。
(編集校正課/浜口)

.....
寒 波もやってきて、例年よりも寒さが厳しく感じます。風邪などひかぬよう「体調管理だけはしっかりしよう」と、思います。
(プリプレス課/山本)

.....
先 日、クラシックコンサートに行ってきました。冬は一年の中で本当に、音楽が映える季節だなあ...としみじみ感動しました。みなさま良いお年をお過ごしください。
(学会課/梅村)

.....
寒 くなったと思ったら、もう年末ですね。今年の冬は扁桃腺の調子が悪く、改めて基本の手洗い・うがいの大切さを実感。徹底していこうと思います。健康な新年を迎えられますように。
(学会課/小畑)

.....
祖 母の四十九日を終え、幼い頃の思い出が詰まった築60年程の家屋も来春には取り壊されるそうです。愛着を失った街はより賑やかになっていきます。誰かにとってのよき明日でありますように。
(DTP課/平川)